

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 1/9 第25号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

3期が始まる

全校生徒の皆さん、明けましておめでとうございます。今年の正月3が日は、寒い日が続きましたが、冬休みは有意義に過ごせましたか。やるべき事はしっかり実行できたでしょうか。1月5日(金)から3期が始まりました。3期はまとめの時期です。1期と2期の反省を活かして3期も充実した学校生活を送ってください。そして1年間の有終の美を飾ってくれることを願っています。また、3期は新しい学年の準備期間とも考えられます。「3期は、新しい学年の0期」として過ごすことも大切です。3期は、1月から3月までと短く、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」といって早く過ぎていきます。特に3年生は、進路決定に向けて大切な時期ですから、なかなかゆっくり物事を考える時間がとれません。しかし、冬休み前の全校集会でお話ししたように意識をして物事をじっくり考える時間もとってほしいものです。

次に今年の目標について話をします。「1年の計は、元旦にあり」といいます。生徒の皆さんには、今年の目標をたてましたか。目標をたてるときに2つのことが大切です。1つ目は達成可能であること 2つ目は自分で考えてたてることです。達成できそうにないことを目標にしても意味がありませんし、他人の目標を自分の目標しても意味がありません。しかし、簡単に達成できそうなことを目標にしてもだめです。ですから目標をたてるのは意外にむずかしいことなのです。また、目標をたてるときに長期の目標と短期の目標を分けてみるのも重要です。長期の目標とは、言い換えれば5年後、10年後の自分はこうありたいと想像してみることです。つまり「なりたい自分を見つける」ことです。短期の目標とは、日々の目標です。毎日の生活でこれだけは実行しようとすると具体的な目標です。「早寝、早起きをして規則正しい生活を送る。」「好き嫌いなくバランスのよい食事を心がける」「2時間の家庭学習を行う」などです。短期の目標を地道に達成していくことで長期の目標達成に近づいていきます。目標がたてられていない人は、ぜひ早く目標をたててください。

3期も全員の生徒が笑顔で、元気に充実した学校生活を送ってくれることを願っています。

新しい先生をお迎えしました

新しく双ヶ丘中学校に来られた2人の先生を紹介します。まず森本篤志（もりもと あつし）先生です。1年生で数学を教えていただき、1年4組の担任をしていただいている吉田 功（よしだいさお）先生がご病気のため休れます。吉田先生に代わって森本先生に1年生の数学を担当していただきます。もうお一人は、田中りえ（たなか りえ）先生です。田中先生には学校生活のさまざまな場面で支援をしていただきます。